

農家のための
最新情報あぐり
最前線

※防除薬剤の数字は、安全使用基準【希
釈倍数・（収穫何日前まで使用可能か
／通算使用可能回数）】を表していま
す。農薬安全使用基準を守り、使用し
てください。

水
稲

◎生育期間中の天候

本年は梅雨の期間が極端に短く、平年
に比べ約3週間早い梅雨明けとなりまし
た。梅雨明け後は高気圧に覆われ晴天が
続き、気温は平年よりかなり高く推移し
ました。

田植え後の6月から梅雨明けまでは前
線や湿った空気の影響で降水量は平年よ
り多くなりました。しかし、梅雨明けが発
表された6月27日以降は、一時的な降雨
や雷を伴う大雨により、降水量はあつた
ものの降雨日数自体は少なくなりました。

◎生育状況

病気や害虫の発生は平年並みとなりま
した。また、生育後半では平均気温が平
年より1〜2℃高く推移したため、早生

から晩生品種まで、収穫時期が1〜2日
程度早まりました。

●未熟粒・胴割粒

未熟粒は粒の全体もしくは一部分が乳
白色になったもので、胴割粒は玄米の内
部に亀裂が生じる現象です。両者に共通
する原因の一つとして、登熟期以降の気
温（特に夜温）が高いことが挙げられます。

●黒点米

登熟初期に籾から水分が多く蒸散する
ことで玄米表面に「くさび状」のき裂が
生じ黒く変色する高温障害です。

次年度の対策

①土作り

作土を深くして根が動きやすい環境を
作るとともに、生育後半まで根の活力
を維持するために重要です。

②適正施肥

登熟期間中の葉色が濃く維持されると
発生は少なくなります。

③出穂期以降の水温を下げる

出穂以降、夕方以降の水の入れ替えや、
かけ流しなどで水温を下げると効果的
です。

④登熟時の早期落水防止

落水時期は可能な限り遅らせ、収穫時
に田面を極端に乾かしすぎないように
しましょう。

◎玄米の品質改善に土壤改良資材を投入
しましょう。

●農力アップ（100kg／10a * 秋落ち水
田では140kg／10a）

茎葉の強化、根の保護、保肥力の向上
が期待でき、水稻の安定生産、品質向上
に役立ちます。

キャベツ



●播種

▽11月1日〜12月5日 ※SE

●定植

▽11月1日〜10日 ※春のかほりSP③

●病害虫防除（本田防除）

▽11月上旬 ※星岬SP・恋岬SP

・フェニックス（類） 200倍（前日／3回）

・コルト（類） 400倍（前日／3回）

・ファンタジスタ（類） 200倍（3日／3回）

▽11月中旬 ※春のかほりSP①

▽11月下旬 ※春のかほりSP②

・グレイシア（乳） 200倍（7日／2回）

・ウララDF 200倍（前日／2回）

・ファンタジスタ（類） 200倍（3日／3回）

◎菌核病

結球期以降に発生し、下葉から灰褐色
に変色しやがて腐敗します。発病した結
球葉をはがすと、内部に白色綿状のカビ
を生じ、ネズミの糞のような菌核を形成

します。9〜11月の間に降雨が続くと発
生を助長しますので予防を心掛けてくだ
さい。

▽予防

・ロブラール（水） 1000倍（7日／4回）

・ファンタジスタ（類） 2000倍（3日／3回）

・シグナムWDG 1500倍（7日／2回）

▽発生初期

・アミスター20（フ） 2000倍（前日／4回）

・カンタスDF 1500倍（7日／2回）

また、菌核は土壤中で越冬するため、
被害株は菌核を形成しないうちに圃場
から持ち出し処分してください。

●追肥

▽定植活着後 ※春のかほりSP③

・ニューパワーユーキ262（60kg／10a）

または

・あさひS602（40kg／10a）

または

・エコレット266（60kg／10a）

●収穫

▽11月1日〜12月15日 ※星岬SP

ハクサイ



●病害虫防除（本田防除）

▽11月上旬

※11月どり品種

・アクセル（フ） 1000倍（前日／3回）

・トランスフォーム（フ） 2000倍（3日／3回）

・バリダシン（液） 500倍（3日／3回）

▽11月中旬

※12月どり品種

- ・ブレオ(フ) 1000倍(7日/2回)
- ・コルト(顆) 4000倍(3日/3回)
- ・スターナ(水) 1000倍(7日/3回)
- ▽年明けどり品種・防寒
- ※11月上旬
- ・グレーシア(乳) 2000倍(7日/2回)
- ・ウララDF 2000倍(前日/2回)
- ・キノンドー(フ) 1000倍(30日/5回)
- ※11月下旬
- ・フェニックス(顆) 2000倍(前日/3回)
- ・コルト(顆) 4000倍(3日/3回)
- ・シグナムWDG 1500倍(7日/3回)
- 追肥
- ▽定植活着後
- ・ニューパワーユーキ262(120kg/10a)
- または
- ・あさひS602(100kg/10a)
- ▽結球開始期
- ・ニューパワーユーキ262(80kg/10a)
- または
- ・アズマツプ545(60kg/10a)
- 生理障害対策
- ◎石灰欠乏(アンコ)
- 植物体へのカルシウム吸収量が不足することで発生します。主な原因は、
- (1) 土壌中のカルシウム不足
- (2) 土壌の乾燥
- (3) 窒素過多
- (4) 過湿等で根が障害を受けた場合等が挙げられます。特に土壌の乾燥が影響しやすいため、適宜灌水とパフォームCa(500倍)の葉面散布を行ってください。
- 病害虫防除
- ◎べと病

- 晩秋および春の気温の低い多湿期に発生が多く、結球後期、球が老化すると葉柄部に黒いシミおよび斑点(組織内べと)が発生します。老化させず、早めの収穫を心掛けてください。
- ▽予防
- ・ナレート(水) 800倍(30日/3回)
 - ・ピシロック(フ) 1000倍(前日/3回)
 - ▽発生初期
 - ・アミスター20(フ) 2000倍(前日/4回)
 - ・プロボーズ(顆) 1000倍(7日/2回)
 - *TPNを含む農薬の使用回数は合計2回までです。プロボーズ(顆)とダコニール1000はTPNを含むため、使用回数に注意してください。
- 定植
- ▽11月20日～12月10日
- ※緑竜・グラントーム
- 病害虫防除(本田防除)
- ▽11月中旬 ※こんにちは
- ・アクセル(フ) 1000倍(前日/2回)
 - ・コルト(顆) 4000倍(前日/3回)
 - ▽11月中旬 ※クリア(10月中旬定植)
 - ・グレーシア(乳) 2000倍(7日/2回)
 - ・ウララDF 2000倍(前日/2回)
 - ・シグナムWDG 1500倍(7日/2回)
 - ▽11月下旬 ※クリア(9月下旬定植)
 - ・アクセル(フ) 1000倍(前日/2回)
 - ・コルト(顆) 4000倍(前日/3回)
 - ・ナレート(水) 1000倍(14日/2回)



- 追肥
- ▽定植活着後
- ・ニューパワーユーキ262(80kg/10a)
 - または
 - ・エコレット266(80kg/10a)
 - *追肥と同時に土寄せを行ってください。
- 収穫
- ▽11月1日～30日 ※トップスター
- ▽11月5日～30日
- ※SK9-099・アーリーキャノン
- ▽11月15日～12月15日 ※おはよう
- 11月から収穫が始まります。収穫時期を逃さず、若どりを心掛けてください。なお、病害虫に注意してください。
- 病害虫防除
- ◎黒斑細菌病
- 気温が高く、降雨の多いときに多発しています。また、発生すると防除しにくいので予防散布に重点をおいてください。なお、発病は肥料切れで助長されます。
- ▽予防
- ・カセット(水) 1000倍(14日/3回)
 - ▽発病初期
 - ・マイコシールド 750～1000倍(14日/3回)(※登録は軟腐病のみ)
 - ◎白さび病(ワッカ症)
 - 11月上旬からの降雨の多い低温の年に発生が多いです。特に、夜が低温で翌朝気温が上昇する場合に注意が必要です。多湿になりやすい密植を避ける、予防散



- 布の徹底等で対策します。
- ・ダコニール1000 1000倍(45日/3回)
 - または
 - ・ピシロック(フ) 1000倍(前日/2回)
 - *地際部まで十分濡れるように散布することが重要です。
- ◎アブラムシ類
- 秋期に乾燥すると発生が多くなります。新葉付近に群棲することが多く、防除を怠ると生育不良になるばかりでなく、出荷物への混入や排泄物(甘露)に発生する病害(すす病)の原因となります。葉裏、葉の中心部に薬剤がかかるよう、丁寧な薬剤散布が必要です。
- ・トランスフォーム(フ) 2000倍(前日/3回)
 - または
 - ・モス・ヒラン(顆) 2000～4000倍(14日/1回)
- 青ネギ
- 秋まきの作型が11月以降に収穫を迎えます。収穫期が近づくと徐々に水を切り、葉に青みを持たせるようにしてください。
- 病害虫防除
- ◎アブラムシ類
- 発生すると増殖が速いため、発生初期での防除が大切です。
- ・コルト(顆) 2000倍(3日/3回)
 - ・アグロスリン(乳) 1000～2000倍(7日/5回)
 - ◎べと病・さび病
 - 気温15℃前後で降雨が多いと発生しやすくなります。
 - ・アミスター20(フ) 2000倍(3日/4回)



カキ



11月は富有柿の収穫が最盛期となります。

出荷基準を厳守して収穫し、果梗部は短く切り果実を傷つけないようにしてください。

●収穫のポイント

- ・果粉（果実表面の白い粉）はできるだけ落とさないようにしましょう。果粉は、新鮮さの度合いを表します。
- ・他の果実に傷をつけないため、果梗枝は完全に切り落としましょう。
- ・雨天の日の収穫等で果実が濡れている場合は、黒変果防止のため扇風機等で乾燥させてから出荷しましょう。

◎黒変果

黒変果は、着色始めの9月中下旬から成熟期にかけて増加します。発生が多く見られるのは、風通しが悪い・湿度が高い・日照時間が短い園です。防止対策として、マルチの敷設・摘葉処理・雑草の刈り取りを行い、園内の湿度を下げることで地面を乾きやすくしましょう。

ミカン



適期収穫を心掛け、丁寧かつ品質をよく吟味して収穫しましょう。

●品質向上対策

収穫期に雨が多いと浮皮果が助長されるため、水溶性カルシウム剤（バイカル

ティ）を引き続き散布してください。

果実の肥大に伴い、枝が下垂してきます。地面まで下垂した枝については、枝つり・枝支えを行いましょう。

●施肥

・ニューわかやま味一ブリケット（100kg／10a）

または

・わかやま配合（100kg／10a）

施用時期が遅れると肥効が悪くなるため、11月上旬には施用を終えてください。

●病害虫防除

○果実腐敗防止

収穫1週間前に散布することで予防効果を高めることができます。

・トップジンM（水） 200倍（前日／5回）

または

・ベンレート（水） 400倍（前日／4回）

※かんきつ類では使用回数が（前日／2回）と異なるため注意してください。

ウメ



落葉が始まり休眠期に入ります。11月は土作りと整枝・剪定を行いましょう。

●施肥（土壌改良）

・完熟堆肥（200kg／10a）

または

・新ふりかけ堆肥eco（200kg／10a）

・苦土セルカフミン（120kg／10a）

●整枝・剪定

剪定作業が年明け以降にずれ込むと、蕾が大きく膨らみ、貯蔵養分が無駄に消

耗されるため、年内に終わるよう計画的に作業を進めましょう。

●苗木の植え付け

落葉果樹の苗木の植え付けの適期は、11～12月です。老木樹及び不良品種の改植、受粉樹の不足園への補植を行いましょう。また、植え付け後は乾燥を防ぐため、敷き藁等を施用し灌水しましょう。

モモ



11月下旬頃から苗木の植え付けを行います。また、落葉を終えて少し経った樹から整枝・剪定を始めてください。

●苗木の植え付け

乾燥には比較的強いですが耐水性が弱いいため、排水が良好で通気性の良い土壌を好みます。植え付けの前には、完熟堆肥等の土壌改良剤を投入するとともに、排水対策を行いましょう。また、風当たりが強い園では防風樹・防風ネット等の防風対策を行ってください。

川中島白桃など花粉のない品種では、受粉樹を混植する必要があります。

イチジク



気温が低下し、収穫は終盤を迎えます。収穫後、園内に残っている葉や果実は病害虫の越冬場所となりますので、園外へ持ち出すか焼却しましょう。

●施肥

土壌分析をしましょう！

土壌分析を希望する方は、乾燥させた200g程度の土を袋に入れ、住所・氏名・電話番号と品目名（水稲・キャベツ・ミカン等）を記入し、11月14日（金）までに各営農センターまでご持参ください（1点500円）。分析結果は12月中旬ごろにご連絡いたします。



野焼きは原則禁止です

適法な焼却炉以外（ドラム缶などで廃棄物を燃やす行為（野焼き）は、法律で原則禁止とされています。農業を営む上で、やむを得ず発生するものの焼却は例外とされていますが、よく乾燥させてから少量ずつ焼却するなど、近隣の皆さまのご迷惑とならないよう、お願いします。

11月・12月
お申し込み限定キャンペーン

耕運爪が**3割引!!**



※納品は、お申し込みの翌月以降となります。
※ボルト、交換工賃別途。

詳細はお近くの営農センターまでお問い合わせください。

使用済廃プラスチック 回収のお知らせ

ご希望の方は、最寄りの営農センターまで
事前にお申し出ください。

◆回収日時

12月2日(火) 7:00~10:00

◆費用 (kgあたり)

約46円~49円(税込)

※産業廃棄物処理法に基づく処理

※持ち込まれるものの種類・状態によって、費用が変わる場合があります。

注意事項

- ①農ビ(塩化ビニール)と農ポリ(ポリ系ビニール)を回収します。
- ②農ビと農ポリは分別して回収しますので、分けて搬入してください。
- ③ウェーブブロックなど糸入りビニールやマルチフィルム、劣化が進んだ(ボロボロの)ものは避けてください。
- ④丁寧にたたみ、最大10kg程度にそろえて十字に紐をかけてください。
- ⑤事前にお申し込みのない場合は、回収できません。
- ⑥搬入は、午前10時までにを行うようにお願いします。

申し込み締め切り 11月14日(金)

詳細は、最寄りの営農センターまでお問い合わせください。

地域の活動も
お届けします!

ふれあいTOPICS

育苗は栽培が難しい高温期。水稲収穫とも重なります。管理や労力などの負担を軽減するため、育苗施設「グリーンステーション」では優良苗の供給で、新規・規模拡大生産者の不安を解消し、栽培活動を支援。総計2万7,500トレーを供給しました。



当地域管内5カ所で、秋から始まるキャベツ、ハクサイ、ブロッコリーなどの栽培に向け、共販部会の肥料・農薬一括引き渡しを実施しました。地区別説明会などで事前に注文を取りまとめ、価格交渉力と事業競争力を強化。コスト削減や安定供給を図りました。



自家育苗する生産者には、メインとなる8~9月に巡回指導を強化。高温対策を中心に指導しました。今後も高品質安定出荷で農業所得の向上に貢献できるよう、全力でサポートを続けていきます。



「フロンティア2025」
成功に向け組合員の皆々を
全力サポート



害虫被害を限りなくゼロに
JA広報車でアナウンス

水稲の害虫、斑点米カメムシ類の全国的な多発を受け、当地域管内の水田地帯全域で、水稲農家に防除適期を呼び掛ける一斉広報活動を実施しました。

昨年は暖冬の影響で斑点米カメムシが発生し、山間部を中心に被害が発生しました。管内では今年、早期から雑草処理など対策を進めましたが、長期化する気温高に害虫の活性化を警戒。JA広報車から「被害を抑えるため、防除を行いましょう」とアナウンスし、声を掛けられれば路肩に停めてアバイスもしました。『限りなく被害をゼロに』。今後も防除意識を高め、意思統一を図っていきます。

「men'sキッチン吉宗」
健康食材で夏を乗り切る

第2回は疲労回復に効果抜群！

「ズッキーニを使った料理」です。

「豚バラ肉とズッキーニの重ね蒸し梅だれ添え」「ニラだく肉じゃが」「モロヘイヤのトロトロそうめんつゆ」「ほうじ茶ミルクティーゼリー」の4品に挑戦しました。

メインのズッキーニはピーラーでスライスし、お肉とミルフィーユ状にしていきます。丁寧に重ねる班が多いですが、そこはざっくり量りつつ、料理の匙加減も学んでいきます。2回目はやや慎重となり失敗は少なかったかな？次回もっとおいしい料理が出来るのではと楽しみです。



女性大学第8回講座

女性大学第8回講座は**お楽しみ会**。

ピラティスインストラクターの中川智子氏を講師に招き、ピラティスを体験しました。

ピラティスの歴史を紙芝居で学び、呼吸法や姿勢、体軸を鍛えるエクササイズで汗を流しました。他にミニゲームやダンスなどお楽しみ要素満載！受講生は「体幹の重要性を学べた。日常に取り入れていきたい」と良い刺激となりました。



女性会活動

フードドライブ活動2回目は、北ブロックのたすけあい強化月間です。集まった飲食料品26点をNPO法人フードバンク和歌山に寄贈しました。

各ブロックの強化月間設定は、今年で3年目となります。女性会副会長で川永支部の島本寛子支部長は「活動の理解を深め、継続していきたい」と話しました。

12月は南ブロックの強化月間です。ご協力いただける方は、**12月15日～22日**の間に、支店、営農センターまで、ぜひ、お願いいたします。



小倉支部

親睦会を開き、バスツアーでかつらぎ方面に行ってきました。

まずは、紀の川市の道の駅「青洲の里」でランチバイキング。旬の味を楽しんだ後、かつらぎ町の上垣内農園へ。広がるブドウ農園を堪能し、大粒のピオーネを購入しました。帰りは紀北地域の「やっちゃん広場」でお買い物。『とても楽しかった』と、皆さん大満足でした。



愛菜てまりっこ 11〜12月

11月は国消国産月間

キャンペーンを実施しています。
ぜひ、来店ください。



11月1日(土)〜12月13日(土)
お歳暮フェア

11月末までのご予約またはご購入で
早期割引！

11月10日(月)
てまりっこの日

月に一度の大特価！

11月28日(金)〜29日(土)

感謝セール

旬の農産物を感謝価格でご奉仕！！

12月10日(水)

てまりっこの日

月に一度の大特価！

12月24日(水)〜25日(木)

クリスマスフェア

レジにてお会計をして
いただいた小学生以下のお子様は、
お菓子すくいも1回チャレンジ！



Instagramで
お得な最新情報を
発信中！



無料相談会

弁護士無料法律相談会

権利・示談・債務・相続…など、組合員の
皆さまの法律的な相談に、弁護士が直接ご対
応します。

「開催日時」毎月第4木曜日

9時30分〜12時（お一人様30分程度）

「開催場所」わかやま地域本部2階第3会議室

11月の開催日は11月27日(木)です。

相談には予約が必要です（先着5組）。最
寄りの支店またはわかやま地域本部総務部
（☎471-3731）までお問い合わせ。
お申し込みください。

なお、今回の開催予定は12月25日(木)です。

年金相談会／相続・遺言相談会

社会保険労務士・税理士が直接ご対応いた
します。事前予約が必要です。開催支店
にお問い合わせ・お申し込みください。

「開催日程」

11月20日(木) 四ヶ郷中之島支店

☎471-2719

1月15日(木) 宮前支店

☎476-5511

開催時間はいずれも10時〜15時です。

ローン相談会

住宅ローン・リフォームローン・カーロー
ン・教育ローンなど。借換、お見積り、お気
軽にご相談ください。

・わかやまローンセンター（JAビル支店隣）

☎423-4160

平日（9時〜17時・日曜（10時〜16時）

HAPPY LIFE 家庭菜園 高井茂代さん（木ノ本）

目指せ自給自足！
夫婦で元気に体を
動かし、もっと美
味しい野菜を作り
たいです。



一緒に写っているのはペットのキリちゃん。畑で遊ぶのが大好きです。一緒に農作業をする夫の隣さんは、家庭菜園を「暇つぶし」と言いつつ「良いのが出来たら嬉しい」とまんざらでもなさそうでした。



「野菜を育て、食べる喜びと仲間作り」と魅力を話す高井さんの趣味は家庭菜園。閑静な住宅街の一角で、多彩な農産物を栽培しています。新鮮な野菜が好きな高井さんは、12年前の定年退職を機に、知人から声を掛けられ本格的にスタートしました。お家でモサダ菜などを作っていたそうで、「丁度良くて縁があった」と振り返っていました。

作付面積は約165㎡で、栽培品目は30以上！たくさん出来たときはご近所さんにおすそ分け。「喜んでもらえて嬉しい」とやりの感じがしています。



こだわりの「無農薬栽培」。家の光やインターネットを参考に、天然の虫よけなどを作っています。何事にも挑戦。「虫が減っているように感じる」と手応えを掴んでいました。

最初は害虫に大苦戦。アライグマにスイカを全て食べられた思い出。そのとき、いろいろ教えてくれたのが家庭菜園仲間です。今では、作業前にご近所の坂本さんが淹れてくれるコーヒーを飲みながらみんなと談笑するのが楽しい日課です。最近では新たにご近所さん3人が始めたとのこと。先輩となる高井さんは「もっと頑張らなくっちゃ」とやる気を見せていました。



取材時、お孫さんの和奈さんが帰省していたのでご登場いただきました！旬の野菜をいっつも楽しみにしているとのこと。「めっちゃおいしい！」と太鼓判です。